

## 基本方針（案）

総務財務委員会 委員長 棚瀬 直幸

### しんしゅかかん 進取果敢

～自分らしく前向きに取り組める組織へ～

春日部青年会議所は「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的として創立され、60年間もの長きにわたり地域のための運動を展開してまいりました。今日まで運動を継続することができたのは、先輩諸氏の地域をより良くしたいという想いと不断の努力によって、地域の方々との信頼関係を築き上げてきたからだと考えます。

春日部青年会議所が、これからも地域から信頼され続ける組織であるためには、透明性のある組織運営が必要不可欠です。そのためには、刻々と変化する法制度へ対応し、適切な財務管理と公正な意思決定をする必要があると考えます。

そこで、総務財務委員会では、財務管理の徹底と意思決定のプロセスである総会や理事会の適正な運営に注力するとともに、それらを行う上での規範となる定款や諸規定をアップデートしてまいります。

また、備品や機材、デジタルアーカイブの整理を行うとともに、DX化をさらに加速させ、必要な時に必要なモノ・情報へアクセスしやすい環境を整えてまいります。

備品や機材は要不要を今一度精査し、使うかどうかわからないものが保管してある状態を解消いたします。

さらに、様々な媒体に点在している情報を整理し一元化することに加え、DX化を推し進めてまいります。そして、LOMの財産であるアーカイブや過去のハンドブックの内容をルームに行かずとも確認できるなどの仕組みをつくり、メンバー同士が離れていても協同して活動に取り組めるようになることを目指します。ただし、DX化には、正しい知識と適切な運用が必要です。総務財務委員会では、新しい知識を自らが積極的に取り入れるとともに、各委員会へ情報を共有してまいります。

そうすることで環境が適切に整備され、メンバーが時間を有効活用でき、一人ひとりが自分らしく活動に取り組めることで、地域のための活動により専念できるようになり、ひいては今後の春日部青年会議所の力強い運動につながるものと考えます。

最後に、本年度総務財務委員会は組織を支える筆頭委員会として、メンバー一人ひとりの前向きな気持ちを引き出せるよう、体制づくりをやり遂げる1年としてまいります。

1年間、どうぞよろしくお願いたします。

**【事業計画】**

- (1) 定款、諸規定に関する事。
- (2) 総会・理事会の設営および関連資料の作成。
- (3) 会員名簿の完備、ハンドブック・名刺の作成。
- (4) 褒賞、表彰に関する事。
- (5) JC ルームの管理及び物品備品の保管、管理に関する事。
- (6) デジタルアーカイブ（各資料のデジタル化と管理）に関する事。
- (7) 例会・事業に於ける会員の出欠記録に関する事。
- (8) 会費の徴収に関する事。
- (9) 財務の管理に関する事。
- (10) 各委員会との連絡調整に関する事。
- (11) その他各委員会に属さない事項に関する事。
- (12) 会員の退会に関する事。
- (13) 会員の拡大に関する事。
- (14) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

## 基本方針（案）

広報委員会 委員長 大丁 奨也

# 夢を描く広報活動

～想いをつなげ、未来を創る～

春日部青年会議所は設立より 60 年にわたり「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に運動を展開して参りました。本年まで運動を続けることが出来たのも、先輩諸氏が地域の方から共感と信頼を得るために尽力されたからです。私たちはそのことに感謝を忘れてはいけません。これからも長い歴史を途切れさせることなく、地域に必要とされる団体であり続けるため、引き続き皆様の共感と信頼を賜れるように青年会議所運動を発信して参ります。

私たちが力強い運動をしていくためには「この地域をより良くしたい」という想いで活動していることを、一人でも多くの地域の方に知っていただく必要があります。より多くの方にこの想いを知っていただくことができれば、その方たちの中から様々な形で協力していただける事が増え、この地域をより良くする運動もさらに力強くなっていくでしょう。

しかし、春日部青年会議所メンバーがどんな想いで活動しているのかを知る機会は少なく、さらに多くの方が団体の存在も知らないのではないのでしょうか。

そこでこれまで委員会が事業例会の PR 活動をそれぞれ行ってきましたが、本年は私たち広報委員会も最大限、各委員会が事業例会にかける想いをキャッチして発信していき、地域の方々へ運動の協力を得られるよう広報活動をして参ります。

近年、多くのメンバーが入会し、組織として新しい力が加わっています。しかしその一方で、入会したばかりのメンバーの中には春日部青年会議所の運動や活動を把握していない方も見受けられます。その結果、活動への関心が薄れ離れてしまうケースも少なくありません。このような状況を改善し、新しい仲間たちが運動に対して積極的になれるように、広報委員会として各委員会の想いを多くのメンバーに届けることが重要だと考えます。そうすることで、所属していない委員会の事業例会にもより関心が湧き、メンバー一人ひとりが JC 活動に積極的になると考えます。そのようなメンバーが増えれば、私たちの「この地域をより良くしたい」と思う気持ちがより加速し、力強い運動が展開できるでしょう。

最後に私は、昨年新春賀詞交流会に参加して、春日部青年会議所の力強い運動を感じました。この想いを、本年は春日部青年会議所メンバー一人ひとりに感じてもらえるように積極的に活動をします。「この地域をより良くしたい」という想いを感じた者として、春日部青年会議所メンバーに想いを伝えられるような夢を描く広報活動をして参ります。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

#### 【事業計画】

- (1) 専務理事の補佐に関する事。
- (2) 広報に関する事。
- (3) 例会・事業等に関する資料・写真・映像などの収集及び管理に関する事。
- (4) ホームページの管理に関する事。
- (5) 情報収集及び提供に関する事。
- (6) サッカー部に関する事。
- (7) 会員の拡大に関する事。
- (8) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

## 基本方針（案）

渉外委員会 委員長 深井 孝典

# ふえきりゆうこう 不易 流行

～変わらぬ価値と挑戦～

私たちが現在まで青年会議所運動を続けてこられたのは、地域の方々のご理解やご協力のおかげであり、今後も先輩諸氏が築き上げてきた地域からの信頼や信用を更に築き続けていく必要があると考えます。そのために、私たちは60年間途絶える事のなかったバトンの重みを今一度再認識し、行政・関係諸団体・地域の皆様への感謝の気持ちを忘れることなく丁寧な対応を心掛けるとともに、新たな団体との関係の構築を図ります。そうすることで、更なる信頼関係を築き続け、今後も多くの地域の方の心を動かす運動を続けていくことができるでしょう。

青年会議所には、LOM以外での学びの場が多数用意されています。LOM以外の場にも積極的に参加し、一つでも多くの学びを得てもらうことでメンバーの視野が広がり、個の集まりであるLOMも更なる成長をすることができるでしょう。

本年度も多くのメンバーが日本青年会議所や各種協議会に出向いたします。私も過去に3度出向の機会をいただきましたが、事業の前や大会前などの忙しい時期でもLOMメンバーに支援されている、という気持ちが大きな支えとなり様々な経験をすることができました。しかし、出向先への参加率が減ると成長の機会を失ってしまいます。そこで、出向者が積極的に活躍できる環境を創るために、出向者が携わる事業や各種大会・会議等に多くのメンバーで関与し、支援してまいります。また、出向者の活躍を日頃からSNSを通じてメンバーに発信してまいります。そうすることで、多くのメンバーが、出向者や出向先での事業により興味を持ち、支援したいという気持ちをより強くすることができると思います。

加えて、各種大会には様々なセミナーや事業があり、そこに参加することで多くの学びを得ることができます。メンバーが学びの機会を逃さず、興味を持って参加できるよう、各種大会や各事業の開催日やセミナー内容などの情報をLOMのSNSにて、素早く正確に発信してまいります。

最後に、私が初委員長を受けさせて頂いた背景にはいくつかの存在がありました。活躍する同年代の仲間、いつも気にかけてくれる先輩諸氏、何時間も話し合い後押しして

くれた妻。それぞれの期待や思いをしっかりと受け止め、歴史に恥じぬよう1年間思い溢れる運動を展開してまいります。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

**【事業計画】**

- (1) 専務理事の補佐に関する事。
- (2) 慶弔に関する事。
- (3) 公益社団法人日本青年会議所、関東地区協議会、埼玉ブロック協議会との連絡調整に関する事。
- (4) 各種大会の案内・手配及び出向者に関する事。
- (5) 行政その他、地域の諸団体との渉外に関する事。
- (6) じゃがいもに関する事。
- (7) 会員の拡大に関する事。
- (8) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

## 基本方針（案）

会員拡大会議 議長 小松 新太郎

# 共に歩もう

～全力で解き放て！！私たちの情熱～

春日部青年会議所は「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に、60年もの長きにわたり力強い運動活動を展開してまいりました。今後も変わらぬ力強い運動活動を続けていく為には、多くのメンバーの力が不可欠です。その為、メンバー一人ひとりが拡大意識を持ち、主体性をもって拡大運動に取り組む姿勢が必要となります。一人よりも二人、三人、四人と人数が多いほど、影響を与える範囲が広がるとともに多角的な視野を持つことができます。地域全体を巻き込む運動活動を行うことで、愛する郷土の発展に寄与し、その中で得た学びはメンバー一人ひとりの人間性の向上に繋がると考えます。

しかし現在のメンバーの中には拡大運動への意識や関与にばらつきがあり、受け身になってしまっている自分を感じることもあるのではないのでしょうか。私は「何事にも真剣で全力な姿勢」こそが春日部青年会議所の魅力だと感じており、この魅力溢れる春日部青年会議所への愛が、前向きな拡大運動に繋がると確信しております。

そこで、主体性を持って拡大運動を行うためには、春日部青年会議所の魅力を再認識して、春日部青年会議所をより好きになってもらうことが大切だと考えます。そして、私自身、春日部青年会議所がとても大好きです。なぜなら、春日部青年会議所の「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」という目的に向けて全力で取り組む多くのメンバーを見ることで、自身もその魅力に気づけたからに他なりません。この想いを、ひとりでも多くのメンバーに伝播させ、メンバー一人ひとりが前向きに参加できる環境作りを行ってまいります。

そして、入会対象者の方々には、春日部青年会議所の魅力をしっかりと伝え、私たちの活動に対する熱い想いを感じてもらいたいです。そうすることで、「私も参加してみたい」という気持ちを抱くきっかけを作ってまいります。その結果として、同じ想いを共感できる多くの仲間と共に歩んでいきたいです。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

**【事業計画】**

- (1) 会員の拡大に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 会員の入会に関すること。
- (3) 例会・事業のオブザーバー参加者の出席記録に関すること。
- (4) 入会対象者に関する資料の収集及び管理に関すること。
- (5) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

## 基本方針（案）

JAYCEE 育成塾 塾長 須藤 恵佑

# Switch on!!

春日部青年会議所は1965年の設立以来「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に運動を行ってまいりました。本年度は節目となる60周年を迎えます。これまでに培ってきた経験を活かし、さらに力強い運動を行うためには、一人ひとりのメンバーが春日部青年会議所で行われる運動や活動に全力で取り組む姿勢が不可欠です。

JAYCEE 育成塾としては、LOMの財産である塾生が春日部青年会議所の目的を理解した上で、主体性を持ち、愛する地域のため懸命に行動できるような人財となっていたと期待をしております。

しかし、塾生の参加状況について調査をしたところ、「仕事が忙しい」といった時間的な制約から、参加することに消極的な塾生も見受けられました。その背景には、運動や活動を通じて得られる学びや成長の価値が十分に理解されていないため、JCで行われる運動や活動に対して、積極的に時間を割けていない状況だと考えます。

春日部青年会議所の目的への理解を深めるためには、運動や活動を行うことで得られる経験が必要です。そのため、塾生が継続的に参加したいと思えるような環境作りが大切です。単に楽しいだけではなく、JCの運動や活動に参加することで得られる、仲間との絆や学びを体験していただきます。そうすることで、参加する意義を見出すことができると考えます。さらにJAYCEE 育成塾だけではなく全メンバーでサポートしていくことで、例会や委員会への参加率も向上し、より感化される機会が増えていくことでしょう。

私はこれまでのJCライフで、様々な人と、多様な活動をする中で、自分の成長を実感することができました。当然、入会当初はそのように思うことはできず、参加をしていく中でスイッチが入り、徐々に主体性を持ちJC活動ができるようになりました。今となっては、LOMに愛着が生まれ、地域やメンバーにとって、より良い団体になってほしいと思っております。最終年度は塾長としてLOMの財産となる塾生と共に成長を遂げてまいります。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

**【事業計画】**

- (1) 新入会員へのオリエンテーションに関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) その他新人会員に関すること。
- (3) スポンサーに関すること。
- (4) 会員の拡大に関すること。
- (5) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

## 基本方針（案）

地域創造委員会 委員長 皆川 一樹

# どうしんきょうりょく 同心 協力

～生き生きと暮らせる地域へ～

私達、春日部青年会議所は、愛する郷土の発展を目的として設立され、その想いは60年と長きにわたり受け継がれてまいりました。私達はその想いをしっかり受け止め、より良い魅力的なまちづくりに取り組んでいかなければなりません。

本年度、地域創造委員会では、地域に賑わいを取り戻すべく、地域に住まう人々に地元を語れるような愛郷心を持っていただきたいと考えます。

なぜならば、その愛郷心を持った人が地域の魅力を自ら発信し、その魅力にひかれて人が集まることで賑わいが生まれると考えるからです。

しかし、新型コロナウイルスの影響により地域の魅力について知る機会であった、地域のイベントが減少してしまいました。また人々の繋がる機会であった地域のイベントの減少は、人々の交流を希薄化させました。

このような状況下では、近年抱える長引く不況経済や少子高齢化など社会情勢の影響で元気がなくなってしまったまちに以前の様な活気を取り戻すことは難しくなっています。

そこで地域の人々が集まり交流する機会を創出してまいります。なぜなら、交流が活発になることでまちの課題を共通認識することができ、解決に向けた情報交換と取り組む意識や姿勢を持ってもらうことができると考えるからです。地域の人々が手を取り合うことで生まれる相乗効果と地域が持つ魅力的な資産の特性や資源を用いることで多くの人々を引き寄せ、地域に賑わいを起こす事が出来ます。そして賑わいを取り戻すことで地域行事が再び活発に行われる様になり、更なる地域の魅力向上に繋がっていきます。そんな地域で暮らすことができれば、多くの人がこの地域への愛郷心を持ち、希望をもって生き生きと暮らすことができると思えるでしょう。

最後に、春日部青年会議所に入会して間もない私ですが、地域の事を想う仲間と活動する中で、自身の成長の機会と人との繋がり的重要性を学びました。1人で出来る事には限界があります。だからこそ手を取り合い人とひとが繋がり未来へ繋いで行けるようにしてまいります。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

**【事業計画】**

- (1) 賑わいのある地域創造に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) コミュニティ推進協議会に関すること。
- (3) 会員の拡大に関すること。
- (4) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

## 基本方針（案）

青少年育成委員会 委員長 福田 忠広

### ゆうおうまいしん 勇往 邁進

～経験の積み重ねで得た強さが、新たな挑戦を可能にする～

本年度、青少年育成委員会では、地域の青少年たちが自らの目標に向かって行動できるようになるために、目的に対して前向きに取り組める心を育み、自主性を高めることを目指して一年間活動してまいります。

目標に向かって行動するためには、自らの判断で行動に起こす経験が必要になると考えます。なぜなら、挑戦して成功した時の経験はもちろん、失敗した時になぜそうなのかを振り返ることが貴重な経験となるからです。そうした経験の積み重ねが、次なる目標にも挑戦したいという気持ちに繋がり、やがては大きな夢にも挑戦できるようになると考えます。

しかし、現在の青少年たちはコロナ禍を経験し、多くの課外活動という身体を通じて学ぶ機会が制限されてしまいました。課外活動では、自己決定をする機会が多くあります。活動から得た情報や人の意見を踏まえ、検討していく過程も、自ら考えて行動する経験となりますが、そのような実践の場が不足してしまったことで、青少年たちの意欲が低下してしまった課題があります。

青少年たちには、体験活動を通じて挑戦する楽しさを感じて欲しいと考えます。なぜなら、新たな事に取り組むときに楽しいと感じることで、興味や関心が芽生え、それがやる気の源となり、自然と自発的に行動するようになるからです。

そうして、目的に対する課題を乗り越える体験をすることで、また新たな事に挑戦したいという前向きな気持ちが生まれると考えます。

最後に、地域の青少年たちにとって挑戦や経験を通して、「一步踏み出す勇氣」と「成長するための努力」が大切であり、どんなに困難な状況でも、自分を信じて新しいことに挑戦し続けることで、必ず成長の糧になると信じています。挑戦を恐れず、学びを大切にできるような、地域の青少年を育ててまいります。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

**【事業計画】**

- (1) 青少年の育成に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 会員の拡大に関すること。
- (3) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

## 基本方針（案）

国際交流委員会 委員長 小林 雅人

# Let's keep going

～心と心を繋ぐ、感動と友情の40年～

春日部青年会議所が1985年から40年にわたり、アメリカ合衆国カリフォルニア州パサディナ青年会議所と国際交流を続けてこられたのは、両青年会議所が国際交流の中で理解と友情を育み、一人ひとりが感動を経験したからに他なりません。このような交流を続けていただいた先輩諸氏に心より感謝申し上げます。

本年はパサディナメンバーを迎え入れる年になります。先輩諸氏が積み上げてこられた気持ちを今後も育み続けるためにも、一人でも多くの春日部青年会議所メンバーにはパサディナメンバーとの交流を通して感動の経験を積むことで、交流を続けていきたいと感じてもらいたいと考えます。しかし、迎え入れる年は全メンバーが参加できる機会であるにも関わらず、コミュニケーションに不安を感じ参加を控えてしまうメンバーがいるのが事実です。そこで本年は、国際交流に関わることで感じる不安を事前に払拭し、一人でも多くのメンバーがプログラムに関わり、たくさんの時間を共に過ごしてもらいたいと考えます。

また近年では、多くの外国の方が就労や定住を目的に日本を訪れており、地域の国際化がより一層求められてきています。だからこそ、これからの時代を担う青少年達には、多感な時期に海外の文化や価値観に触れることで、国際的な視野を持ち社会を築いていくことの大切さを感じてもらいたいと考えます。しかし、日常で外国の方と接する機会は、青少年達が国際的な視野を持つために必要なお互いの価値観や文化を共有できるような交流とは言えません。そこで本年は、地域の青少年達に外国の方をホームステイで自分たちの生活空間に溶け込ませながら多くの時間を過ごしてもらい、お互いの話をしたり、考えを伝え、異なる文化や価値観に触れることで国際的な視野を広げてもらいたいと考えます。

最後に、私は昨年初めて渡米し全力で交流を楽しむことができました。これは初めて行った私でも春日部青年会議所とパサディナ青年会議所が、40年積み重ねてきた信頼関係があるからだと感じました。本年は迎え入れる年になり、一人でも多くの春日部青

年会議所メンバーでパサディナメンバーと多くの感動の経験を積んでいただきたいと思います。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

**【事業計画】**

- (1) 国際交流に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) パサディナ青年会議所との交流事業に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (3) 会員の拡大に関すること。
- (4) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

## 基本方針（案）

周年実行特別委員会 委員長 白石 博樹

# Open The Dream Gate

～想いを受け継ぎ、感謝と覚悟を胸に、踏み出そう！未来への<sup>あす</sup>一步～

春日部青年会議所は、1965年に創立されてから本年で60周年を迎えることができました。これまで運動を続けてこられたのも春日部・杉戸・宮代をはじめとする各行政と関係諸団体の皆様、地域の皆様によるご理解とご協力があったからです。そして、60年にわたり春日部青年会議所が大切にしてきた「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」の理念をもとに、社会の課題を捉え「想い」を持って運動を続けてこられた先輩諸氏に感謝申し上げます。

春日部青年会議所がこれまで歴史を積み重ねてこられたのは、組織として大切にしてきた理念と先輩諸氏が紡いでこられた想いが脈々と受け継がれてきたからです。本年は春日部青年会議所が60周年を迎えるため例年以上に対外的に注目される絶好の機会です。そのため、これまでご協力をいただいた方々に誠意を持って直接感謝を伝えてまいります。そして、改めて多くの方々に春日部青年会議所のことを知ってもらい、理解してもらえる運動を展開してまいります。

次に60周年の節目に際して、春日部青年会議所が大切にしてきた理念と先輩諸氏の想いを受け継いできている意識を持つことが必要です。なぜなら、意識を持つと自覚が生まれ、その自覚はやがて覚悟となっていくからです。「組織は個人の集合体」という言葉があるように、メンバー自身が青年会議所運動に対して、覚悟を持って取り組むことで一人ひとりの成長となり、それが組織の成長にも繋がり、運動を展開するうえで大きな発信力が生まれていくでしょう。

最後に、60周年を節目にメンバー自身と春日部青年会議所の組織として未来への一步を踏み出し、夢の扉を開いてまいりましょう。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

### 【事業計画】

(1) 創立60周年に関する調査・研究・計画・立案・実施。

(2) 会員の拡大に関すること。

(3) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

## 基本方針（案）

サッカー部 キャプテン 瀧石 直人

上手い、下手なんて関係ない。「自分らしく」サッカーを。

私は高校まで野球部だった父の影響で少年野球を習っていました。左利きだった事もありピッチャーやファーストを守る事が多くとても楽しかったのを覚えています。小学校六年生の夏休み、転校が決まりました。同じ市内への転校だったのですが小学生の私からすると大きな出来事でした。そして転校先の小学校ではサッカー好きな先生、生徒がとても沢山いて、担任の先生に「瀧石くんはサッカーできる?」と聞かれるほどでした。

「ずっと野球をやっていたのでサッカーは苦手です」と答えた私に「そっか〜」と残念そうにする担任の先生の顔は今でも覚えています。

しかしそんなサッカーが大の苦手な私ですが、サッカーを好きになる出来事がありました。皆さんは覚えているでしょうか、2010年のワールドカップアフリカ大会、第3戦デンマークとの試合での本田圭佑選手の無回転フリーキックを。私はこの試合を家で一人でリアルタイムで観ていました。力強い助走から時速110キロ近くで蹴り出された高速シュートは、いきなり左へ曲がり、鋭く落ち、ほぼ無回転で飛び、ゴールネットを揺らしました。私はそれを観て衝撃を受けました。なんて面白いスポーツなんだと。もうこの溢れ出てくる感情を誰かと共有したい。そう思うようになりました。

そして今日、私みたいにサッカー観るのは好きだけど、経験が無かったり、運動が苦手な方も少なくないと思います。しかし安心して下さい、春日部青年会議所にはサッカー経験の豊富な諸先輩方やメンバーが沢山いらっしゃいます。そうです、分からない事や苦手なことは知っている人、経験のある方に聞くのが一番です。昨年日本一に輝いたこの春日部青年会議所を今年もサッカーを通じて交流を深め盛り上げていきます。サッカーが上手い、下手を誰かと比べるのではなく、誰もが自分らしくサッカーに取り組める様に試行錯誤していきますのでOBの皆様、ご家族、ご友人もお誘い合わせの上、サッカー部へのご参加お待ちしております。一緒に気持ちの良い汗を流し、脱ベイマックス体型を!!!

1年間どうぞよろしく願いいたします。

**【事業計画】**

- (1) 練習会の実施。
- (2) 全国大会への参加。
- (3) 会員との親睦を図ること。

## 基本方針（案）

じゃがいも キャプテン 大谷 実克

### じゃがいもから始まる交流

春日部青年会議所は、これまで多くの先輩諸氏が築き上げてこられた信頼と信用の上に成り立っています。そのおかげで、私たちは現在、地域への運動に邁進することができています。そして、そんな敬愛すべき先輩諸氏と最も身近に交流できる場の一つが「じゃがいもゴルフコンペ」だと考えています。

このコンペでは、普段は聞くことのできない春日部青年会議所の歩みや、当時の先輩方の経験、そして現在 OB として地域でご活躍されているお話を伺うことができる、大変貴重な機会となっています。こうした偉大な先輩諸氏との交流を通じて、私たちはこれまで知り得なかった歴史に触れ、それを糧に現役メンバーとしての活動にさらに力を注ぐことができるでしょう。

また、秋には久喜青年会議所との合同ゴルフコンペが開催されます。このコンペは 60 年の歴史の中で、44 回も開催されており、両青年会議所の交流を深め、絆を育んできました。この絆をこれからも継続させるために、私たち現役メンバーが先輩方と交流し、合同ゴルフコンペの伝統を理解し、未来へと繋いでいくことが重要だと考えます。2JC ゴルフコンペを立ち上げた久喜の大先輩から「OB をもっと、40 代、50 代を連れてこい」と宿題をいただきました。この思いに答えるのもキャプテンの役目だと考えております。

私自身、ゴルフは得意ではなく、プレーもマナーもまだ学んでいる途中です。しかし、そんな私にも優しく教えてくださる先輩方や現役メンバーがたくさんいて、大変心強く感じています。このコンペは、ゴルフの上手下手に関係なく楽しめる場であり、プレーでたくさん打ち、たくさん走り回った後には、楽しい懇親会が待っています。

2024 年度多くの新メンバーが春日部青年会議所に加入してくださいました。新メンバーの中にはゴルフ未経験の方やコンペにまだ参加したことのない方も多いと思います。しかし、このコンペは成績を競う場ではなく、交流を大切にする場です。初心者・経験者を問わず、またゴルフを新たに始める方にとっても最適な場となるよう努めてまいります。

1 年間、どうぞよろしく願いいたします。

**【事業計画】**

- (1) ジャがいも春場所の実施。
- (2) ジャがいも秋場所（一般社団法人久喜青年会議所との合同）の実施。
- (3) ジャがいも練習会の実施。
- (4) 会員との親睦を図ること。